CSカリキュラム3年目6月第3週目

聖書物語シリーズ「ヒゼキヤ王」

**主題：　神様に信頼したヒゼキヤ王**

聖句：列王記下１７：３９　「あなた方の神、主だけを恐れなければならない。主はすべての敵の手からあなた方を救い出される。」

聖書箇所：列王記下18章―20章、イザヤ36章―39章

参考：　旧約聖書年代表、

**背景**

イスラエルは分裂し北イスラエル王国と、南ユダ王国に別れて200年ほど経っていた。南ユダ王国のヒゼキヤは25歳の時に王様になる。そして29年間イスラエルを治める。ヒゼキヤ王の治世4年間に、北イスラエル王国は、アッシリアによって崩壊させられる。子供たちに、年代表を用いてヒゼキヤ王が置かれていた世界情勢を説明しながらお話しすると分かりやすいでしょう。

**お話：**

* ヒゼキヤ王様は25歳の時、南ユダ王国の王様になりました。
* ヒゼキヤ王は、南ユダ王国からでた沢山の王様の中で、一番神様を信頼してしたがった王様でした。
* ヒゼキヤ王は、国内にあるあらゆる偶像を取り除きました。
* 神様が祝福されたので、ヒゼキヤ王は色んな所で勝利しました。
* ヒゼキヤ王にとって、一つの試練の時がきました。その当時隣の国でとても大きなアッシリアという国が回りの国をせめはじめ、北イスラエル王国は負けてしまいました。
* アッシリアの王セナケリブは残忍な王で、侵略したまちまちの人々の体を切り刻み、それを積み上げて、周囲の町々は恐怖に震え上がっていた。
* アッシリア王の軍隊は南ユダ王国の町々も攻めて勝ち取りました。その時代の人々はアッシリアの軍隊を誰も止める事が出来ないとうわさしていました。そして、その軍隊が、エルサレムにもやってきました。
* アッシリア軍隊の隊長、ラブシャケはとても偉そうに、イスラエルの城壁の前で叫びました。

「お前たちの神様も、アッシリア大王からお前たちを守ることは出来ないぞ！　俺たちの神様が本当の神様でその神様がお前たちを攻めろと言ったのだ！　さあ、降伏しろ！さもないと、他の町々のように、お前の町も滅ぼされてしまうぞ！　もし、反抗するなら、お前たちに馬を２千頭上げよう。それでもお前たちは俺たちを負かす事は出来ないぞ！」　人々はびくびくしました。

* ヒゼキヤ王様は、これを聞いて神様の宮にいって、必死に祈りました。　「生きている神様。今アッシリアの王が、あなたの国に言っている言葉を聞いて下さい。他の国々の神はただの偶像です。だから負けました。しかし、あなたは生きている神様です。私たちを守り、あなたが本当に生きておられる神様であることを、周りの国々示してください。」
* 神様は、ヒゼキヤ王の祈りを聞かれ、預言者イザヤによって言われました。「私はこの町を守って救おう。私と、私のしもべダビデのために。」
* その夜、神様は主の使い（戦いの天使）を送って、アッシリアの軍隊を打ち負かし、１８万５千人の兵士はやっつけられてしまい、次の朝にはアッシリアの王様は逃げていってしまった。
* ヒゼキヤ王様は、病気になってしまい、預言者イザヤは神様のお告げで、病気は治らず死んでしまう言われる。
* ヒゼキヤ王は、神様に涙を流して祈る。　イザヤが帰ろうとしてお城の中庭を通っていた時に、神様はヒゼキヤを癒されると語られる。そしてその印として、日時計の針を１０度戻される。

**ポイント**

1. ヒゼキヤ王は、神様を愛して、信頼し、従った。　何でも、神様に語りかけた。
2. 神様は、ヒゼキヤ王に応えられ、南ユダ王国と、ヒゼキヤ王を守られる。
3. 神様に信頼して従うことは、大事です。また、神様にいつも語りかけることが大事です。どのように大きく見える問題も、神様の前には問題ではありません。